

2024年12月14日に第48回神戸放射線腫瘍懇話会および神戸放射線腫瘍 up to date が開催されました。神戸大学の関連病院だけでなく、兵庫県内や周辺地域の施設の皆様にもご参加いただき、医師、看護師、診療放射線技師、医学物理士など、放射線治療に関わる多職種の勉強会として長年続けられてきた会です。これまで三宮や神戸で開催されていましたが、新たな試みとして、当番世話人の所属施設での開催となり、今回は2022年5月にオープンした兵庫県立はりま姫路総合医療センターで開催されました。

神戸放射線腫瘍懇話会では、一般演題として看護師・医師による緊急照射への取り組み、稀な疾患の1例報告、スパーサー関連、粒子線治療関連など、幅広い内容の8演題が発表され、時間いっぱいまで濃厚な議論が交わされました。また留学報告として、神戸大学の赤坂浩亮物理士からメルボルン大学での生活や研究について熱く語っていただきました。今後留学を考えている方、迷っている方には大きな刺激となったと思います。

続いて開催された神戸放射線腫瘍 up to date では、東北大学病院放射線治療科神宮啓一教授をお招きし、「MR-guided online adaptive stereotactic radiotherapy」についてご講演いただきました。一般病院ではまだ接する機会のない装置ですが、実臨床での使い方、工夫、苦勞などを具体的に知ることができ、大変興味深い内容でした。今後オンライン治療計画の進歩とともに、広まっていく可能性が感じられる素晴らしい治療と思いました。

神戸放射線腫瘍 up to date の後には、はりま総合医療センター放射線治療部門を見学することができました。まだまだ新しい施設であり、今後建て替えを控えている施設の皆様には様々な点で参考になったのではないのでしょうか。他施設の治療現場を直接見ることができる機会は少なく、当番世話人の所属施設で会を開催することの大きなメリットの一つだと思います。

今回は神戸からやや離れた場所での開催となりましたが、多くの皆様にお集まりいただき、盛会のうちに終了することができました。

終了後の懇親会では、放射線治療の近未来について語り合い、多施設多職種の交流を深めることもでき、大変意義深い会となりました。

